

科目名	グローバル文化論				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	春学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	3 年次
教員名	山中 千恵			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

本授業では、グローバリゼーションをめぐる議論を理解したうえで、文化の越境や越境的な文化がいかに人々の想像力に影響を与え、ナショナリズムやアイデンティティを変容させつつあるのかを考察する。授業では、文化帝国主義、オリエンタリズム、ナショナリズム等の重要概念を理解し、グローバル文化を身近な事例から検討する。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業／遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

授業は、主にTeamsの共同編集ノート機能を活用した双方向形式で行う

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：ガイダンス

授業スケジュールと注意事項を確認し、この授業での到達目標や身につく力についての説明を行なう。さらに、事前・事後学習として使う参考図書等についても説明する。

第2回 テーマ：グローバリゼーションとは

グローバリゼーションはいつから始まったのか、どの領域における現象に注目するのか、といったグローバリゼーションをめぐる諸議論を概観する。

第3回テーマ：食のグローバリゼーション（1）

「食」をテーマとするグローバリゼーションの議論を踏まえ、食のグローバル化が、現代どのような文化や社会問題を生んでいるのかについて考える。

第4回 テーマ：食のグローバリゼーション（2）

「食」をテーマとするグローバリゼーションの議論を紹介する。15、6世紀にはじまるグローバリゼーションから、帝国主義の時代、そして現代にいたる食のグローバル化について考える。

★オンデマンド テーマ：〈日本〉文化のグローバリゼーション（1）

グローバルにひろがる〈日本〉イメージとして、ジャポニズムや、テクノオリエンタリズムについて考察を加える。オンデマンド授業は約90分相当の動画を5月1日までにMoodleで配信する。

第5回 テーマ：〈日本〉文化のグローバリゼーション（2）

グローバルにひろがるアニメ・マンガが生みだす文化を取り上げる。また、これを積極的に発信していこうとするクール・ジャパン政策にみられるナショナリズムについて考察を加える。（オンライン・オンデマンド）

第6回 テーマ：〈日本〉文化のグローバリゼーション（3）

オリエンタリズムやテクノオリエンタリズムの議論を踏まえ、それらを超えた〈日本〉イメージをいかに発信していけるのかを検討する。

第7回 テーマ：越境する海賊版とパロディ

海賊行為とパロディ・アダプテーションの概念について理解するとともに、文化の越境におけるそれらの役割を考える。（オンライン・オンデマンド）

第8回 テーマ：韓流・アジア文化のグローバリゼーション（1）

韓国における大衆文化・情報産業への支援・振興政策が、マンガ産業をいかに育て、デジタル化させたのかについて考察を加える。（オンライン・オンデマンド）

第9回 テーマ：韓流・アジア文化のグローバリゼーション（2）

韓国における映像産業が、いかにしてグローバル化したのかを概観し、東アジア域内の文化交流について考察を

加える。（オンライン・オンデマンド）

第10回 テーマ：韓流・アジア文化のグローバル化（3）

韓国における音楽産業が、いかにしてK-POPとしてグローバル化したのかを概観し、東アジア域内の文化交流について考察を加える。

第11回 テーマ：グローバル文化の行方（1）

資本主義の広がりや徹底という意味でのグローバル化がもたらした問題について考察を加える。（オンライン・オンデマンド）

第12回 テーマ：グローバル文化の行方（2）

資本主義の広がりや徹底という意味でのグローバル化がもたらす影響が、自分の生活や人生の選択に及ぼす影響について考察する。

第13回 授業内容の理解度確認テストと解説

第1回から第12回までの内容を振り返り、その理解度を問う確認テストを実施する。

第14回 授業全体のまとめ

第1回から第14回までの内容を振り返り、再度要点の確認とまとめを行う。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 ガイダンス

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、授業内容を理解しておく。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

第2回 グローバリゼーションとは

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、予習課題が出されている場合は提出する。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

第3～4回 テーマ：食のグローバル化

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、予習課題が出されている場合は提出する。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

★オンデマンド テーマ〈日本〉文化のグローバル化（1）

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、予習課題が出されている場合は提出する。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

第5～6回 テーマ：〈日本〉文化のグローバル化

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、予習課題が出されている場合は提出する。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

第7回 テーマ：越境する海賊版とパロディ

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、予習課題が出されている場合は提出する。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

第8回～10回 テーマ：韓流・アジア文化のグローバル化

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、予習課題が出されている場合は提出する。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

第11回～12回 テーマ：グローバル文化の行方

〔事前学習〕大学HPのMoodleにアクセスし、配付プリント等を参照し、予習課題が出されている場合は提出する。

〔事後学習〕配布プリントを読み返し、学んだ内容に関連する参考資料にあたって理解を深めるとともに、新しく学んだ語彙や概念を要約し自分なりに説明できるようにしておく。

第13回テーマ：授業内容の理解度確認テストと解説

〔事前学習〕これまで学んだ語彙や概念を確認し、自分なりに説明できるようにしておく。

〔事後学習〕確認テストを振り返り、語彙や概念を確認し、具体的な事例を探し、自分でも分析、考察してみる。

第14回 授業全体のまとめ

〔事前学習〕これまで学んだ語彙や概念を確認し、自分なりに説明できるようにしておく。

〔事後学習〕これまで学んだ語彙や概念を確認し、具体的な事例を探し、自分でも分析、考察してみる。

※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

グローバリゼーションをめぐる議論を理解したうえで、文化の越境や越境的な文化がいかに人々の想像力に影響を与え、ナショナリズムやアイデンティティを変容させつつあるのかを考察することができるようになる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|--------|----------------------|
| ・思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・幅広い教養 | 【現代社会学部 現代社会学科】 |
| | ・社会学をはじめとする社会科学の応用知識 |

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・授業では、オンライン上で課題を提出させることがある。
- ・授業では、小グループに分かれてのディスカッションを行うことがある。
- ・大学のMoodle上に資料や、動画、小テスト等を提示するので、授業前後に適宜アクセスすること。
- ・小テスト等の送信期限はMoodle上に記載されるが、期限を過ぎると送信不可なので留意すること。

評価方法／Evaluation

- ・平常点（小テスト・小レポート・授業内ディスカッション）100%

※授業内で課した小レポートやテストについて、参考になる内容は授業で紹介することがある。ディスカッション内容に対しても適宜フィードバックを行う。

教 材／Text and materials

1) 教材（配付レジメ、資料等）：大学HP学習支援システムMoodle（URL: <https://ccims.kyoto-su.ac.jp/>）

2) 参考文献

『グローバリゼーション—文化帝国主義を超えて』ジョン・トムリンソン片岡信訳、青土社、2000年

『新版グローバリゼーション』マンフレッド・スティーガー、櫻井公人ほか訳、岩波書店、2010年

『オリエンタリズム 上下』エドワード・W. サイド、今沢 紀子 訳、平凡社、1993年

『ソウルを歩く』平田由紀恵・山中千恵編、関西学院出版会、2018年

『K-POP 新感覚のメディア』金成玫、岩波新書、2018年

質問や相談の方法／Instructor contact

授業に関する質問や相談などがある場合は、オフィスアワーに研究室へ訪問するか、メールで質問すること。メールアドレスやオフィスアワー、研究室の場所の詳細はMoodleに記載するので確認すること。